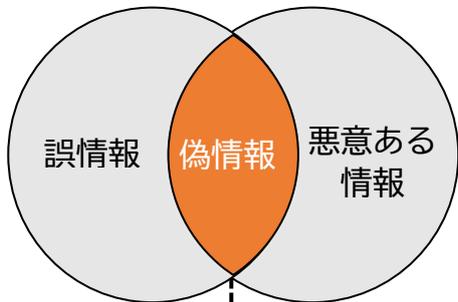


# インターネットトラブルを防ぐために

発行：岩見沢市教育委員会 指導室 青少年センター

## ネット上の誤・偽情報[フェイクニュース]に騙されていませんか？

\*インターネット上の情報（SNS、各種サイト、HP など）は、「だれが」「どんな目的で」作成し発信しているのか確かめていますか？



意図的に作られた誤った情報

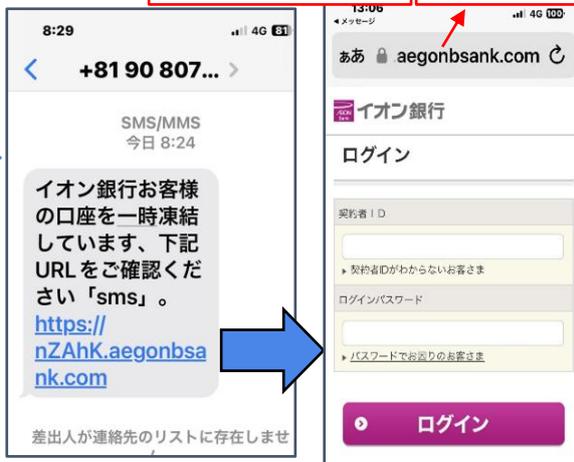
日本ファクトチェックセンター講座 配布用資料より

### \*そもそも、フェイクニュースって？

「害のある情報」には、誤情報〔間違っただけの情報〕と悪意のある情報〔誰かを攻撃する目的で共有された情報〕とがあり、〔悪意をもった誤った情報〕をフェイクニュースといいます。

本物のイオン銀行の URL [www.aeonbank.co.jp](http://www.aeonbank.co.jp)

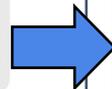
偽のサイトが開く [aegonbsank.com](http://aegonbsank.com)



### \* ネット情報を確かめるには？

#### 1. SNS、メール

SNS やメールにのっている URL を開くと出てくるホームページや本人確認用のログインページは、偽物かもしれません。その会社や自治体などのホームページを新たに検索して、内容を確認する。または、その会社や自治体などに電話をして、内容を確認する。



日本ファクトチェックセンター講座 配布用資料より

#### 2. 画像の検証

ネット上の画像を、加工してフェイクニュースとして投稿されることがあります。〔ネット上の元画像を探す方法（例）〕Google の画像検索機能を使います。同じような画像がいくつか示され、元画像が出てくるかどうか確認します。

残念ながら、これらの方法ですべての情報を確認することはできません。しかし、情報は人間が作成し最後に判断をして発信しています。

私たち自身が、「うわさや誤・偽情報を発信したり、拡散したりしないこと」はもちろん、「情報の真偽を今一度確かめること」が大切です。そして、インターネットを使用するとき、人として何が大切なのかを考え、子どもたちに伝える必要があります。

